

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

氷のう

使用後は中身を捨て、十分に乾燥させてからふたを締め、保管してください。
汚れがひどい場合には、ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふた、保冷ケース

ふたは丸洗いができます。ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンをふたから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

△お手入れ上の注意

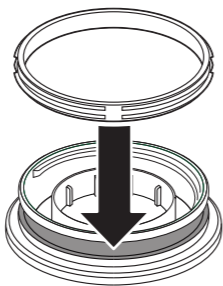
- ご使用後は、中身を捨て、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本品を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 氷のう、保冷ケースやふたの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本品は浸け置き洗いはしないでください。
- ふたを本品に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどでパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

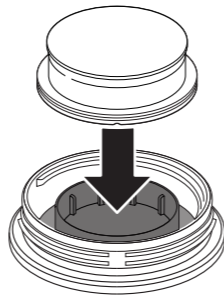
滑り止めの取り付け方

ふたの外周の溝にはめ込んでください。
装着後はきちんとはまっているか確認してください。



パッキンの取り付け方

ふたの中央にパッキンをはめ込みます。
しっかり押し込んで取り付けてください。
漏れの原因となります。



注意:パッキン位置、形状がことなることが御座います。現物の確認をお願いします。

交換部品

- パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用を止め、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



赤い斑点・ザラザラが付着した場合

保冷ケース内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本品に入れて、30分ほど放置したあと、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本品に入れて、ふたを取り付けず、3時間程放置したあとに柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品番	AICP-280	AICP-375
品名	氷のう	
材料の種類	保冷ケース	内びん/ステンレス鋼 胴部/ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
	ふた	ポリプロピレン
	滑り止め	シリコーンゴム
	パッキン	シリコーンゴム
	氷のう口	ポリプロピレン
	氷のう	シリコーンゴム(耐冷温度-20℃)
スペーサー	ポリプロピレン(0.28Lのみ)	
缶ホルダー使用時の 適応サイズ(目安)*	250mL缶 185mL缶(スペーサー使用時)	355mL缶

*缶容量は目安です。缶形状により入らないものがあります。サイズを確認の上ご使用ください。

MADE IN CHINA

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870
受付時間/9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店までご連絡ください。

ATLAS

Bottle in
IcePack

保冷専用

取扱説明書

Ice Packシリーズ

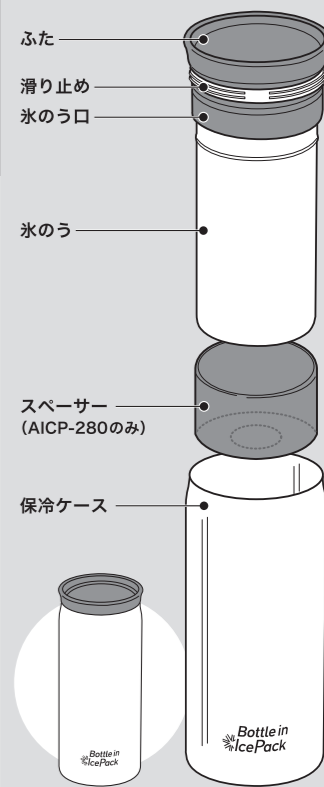
このたびは、当社のボトルインアイスパックをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。
また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときに役に立ちますので、いつでもみられる所に大切に保管してください。

ご使用前に

- はじめてご使用になる前に保冷ケース・氷のう・ふたのキズ・凹み、ふたのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、保冷ケース・氷のう・ふたを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
- 本品は保冷専用です。お湯等熱いものは入れないでください。

※説明中のイラストはAICP-280のもので、実際のものとは異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ



ご使用上の注意



注意

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。けがなどの原因となります。
- 氷のうには水、氷以外のものを入れないでください。

氷のうとして使う場合、次の点を必ずお守りください。

●断熱効果により、凍らせた氷のうを入れても外側には影響しませんが、保冷ケース外側が結露するなどの場合は製品の異常が考えられますのでご使用をやめてください。また、改造や分解もしないでください。

●氷のうで口や鼻を覆わない。
・窒息の原因になり危険です。お子様が使用するときには、必ず保護者の方が十分注意してください。

●異常の発生や症状の悪化を防ぐため、次の場合は使用しない。
・アレルギー体質の方や肌が敏感な方。
・あてる部位に骨折、傷、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常がある場合。
・レイノー病(症候群)、その他の血管痙攣性疾患、冷えに対する過敏症、局所の血液循環不良、神経障害のある方。

●次のことを必ず守って正しく使用してください。血行障害や凍傷、負傷事故を防ぐために次のような使い方をしない。
・就寝時の使用。
・長時間、同一部位の冷却。
・妊娠中または妊娠していると思われる場合。
・氷のうに摩擦、損傷のある場合。

●本品は保冷専用です。お湯等、熱いものを入れないでください。
・氷のうおよびふたの表面が結露するおそれがあり、他のものを濡らしてしまうことがあります。
・水、氷を入れた状態で長時間放置しない。

●氷を入れる場合は無理に押し込まず、砕いてから入れてください。
・シリコーン内側が傷つくと破れるおそれがありますので角の尖った氷の使用は避ける。

●水、氷の量は規定量を超えないように正しく入れてください。(4ページの図を参考)

●氷のうに水を入れた状態で長時間放置しないでください。

●氷のうを横や逆さの状態では凍らせないでください。
・破損の原因となり危険です。

●氷のうふたの開閉は氷のうのシリコーン部分は持たずに氷のう口部分を持って確実に閉めてください。
・もれやものを汚す原因になります。

●持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
・持ち運ぶ際は、ふたをきちんと閉め、ふた部分ではなく保冷ケースを持ってください。

●氷のうを凍らせる時はスパーサーをはずしてください。

氷のう 缶ホルダーとして使う場合、次の点を必ずお守りください。

●底に貼ってあるシールを剥がさないでください。

●ふたが確実に閉まっていることを確認してください。
・閉め方が不十分ですと傾けた場合、水が漏れものを汚す原因になり危険です。

●バッグなどに入れるときは本品を立てた状態で収納してください。
・万一の漏れを防ぎます。

●携帯電話・パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
・万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
・変形や割れ、保冷不良の原因になります。また、ふたの破損原因になります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
・缶ホルダーとして使用時、車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分ですと破損したり、はずれて落下のおそれがあり危険です。

●ドライアイスを入れないでください。

●保冷ケース内部から水の音がする場合は使用をやめてください。
保冷効果の低下のおそれがあります。

●使用により本品の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

●使用中に次の異常が発生したら、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。
・氷のうをあてる部位にけが、骨折、傷、痛み、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常が生じた場合。

●本製品本来の使用目的(氷のう・缶ホルダー)以外には使用しない。
・氷のうは治療目的には使用できません。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。
・破損、事故の原因となり危険です。

●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形・変色の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。

●保冷ケースは冷凍庫には入れないでください。
・破損、事故の原因となり危険です。

ご使用方法

ご使用の前に

●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

氷のうとしてつかう

1 ふたをはずす

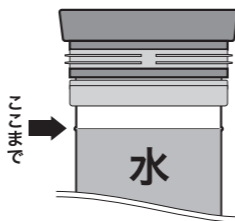
氷のう口を押さえながら、ふたを反時計回りに回して取りはずします。



まわす

2 規定量まで水を入れる

水の量は、下図の 部までにしてください。入れすぎると冷凍したときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は減らしてから、ふたを閉めてください。氷を併用する際は先に氷を入れ、規定量を確認しながら水を入れて調整してください。



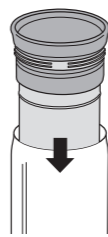
水位線

3 凍らせる

しっかりふたを閉め、立たせた状態で凍らせてください。

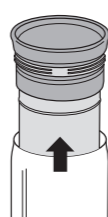
4 持ち運ぶ

保冷ケースに入れて持ち運んでください



4 使う

保冷ケースから氷のうを引き出し、冷やしたい部位にあてます。

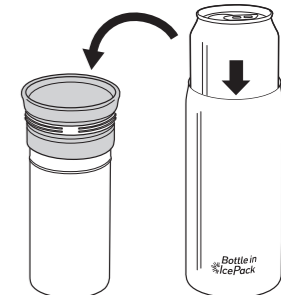


缶ホルダーとしてつかう

AICP-280・・・185mL程度の缶コーヒー(スパーサー使用)、250mL程度のエナジードリンクなど
AICP-375・・・355mL程度のエナジードリンクなど ※一部入らないものもあります。

1 缶飲料を入れる。

氷のうを取り出して缶飲料をしっかり入れてください。サイズの合ったものを入れてください。



2 飲む

本品を持ちゆっくり傾けながら飲んでください。

3 飲み終わったら

缶飲料は長時間放置せず、本品から取り出してください。

スパーサーの使用について

背の低い缶コーヒーを使用する場合は同梱のスパーサーを下図のように上下逆さまにして使用します。

AICP-280のみ同梱

